

市民向け地球温暖化対策セミナー

地域から 世界と未来が変わる 再生可能エネルギー

日時 平成31年 1月19日 土
13:00 ~ 16:00

場所 伊勢原シティプラザ1階ふれあいホール
(伊勢原市伊勢原2-7-31)

【申込・問い合わせ】 電話、FAX または e-mail で伊勢原市環境対策課まで
TEL : 0463-94-4711 FAX : 0463-95-7613
e-mail : kankyuu@isehara-city.jp

【締め切り】 1月18日 【定員】 80名 (申し込み順)

参加費
無料

三部構成 (基調講演・団体の取組紹介・ポスターセッション)

取組紹介団体 4 団体 (東京農業大学、アズビル株式会社、あつぎ市民発電所、WE21 ジャパン・伊勢原)

◆ 講師プロフィール



認定 NPO 法人 環境エネルギー政策研究所
所長 飯田 哲也

1959年、山口県生まれ。

京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修了。

東京大学先端科学技術研究センター博士課程単位取得満期退学。

原子力産業や原子力安全規制などに従事後、「原子カムラ」を脱出して北欧での研究活動や非営利活動を経てISEPを設立し現職。自然エネルギー政策では国内外で第一人者として知られ、先進的かつ現実的な政策提言と積極的な活動や発言により、日本政府や東京都など地方自治体のエネルギー政策に大きな影響力を与えている。

国際的にも豊富なネットワークを持ち、21世紀のための自然エネルギー政策ネットワークREN21理事、世界バイオエネルギー協会理事、世界風力エネルギー協会理事なども務める。

また日本を代表する社会イノベーターとして知られ、自然エネルギーの市民出資やグリーン電力のスキームなど、研究と実践と創造を手がけた。政権交代後に、中期目標達成タスクフォース委員、および行政刷新会議の事業仕分け人、環境省中長期ロードマップ委員、規制改革会議グリーンイノベーション分科会委員、環境未来都市委員などを歴任。

3.11後にいち早く「戦略的エネルギーシフト」を提言して公論をリードしてきた。

福島第一原子力発電所事故発生以降は、経済産業省資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会基本問題委員会委員 (~2013年) や、内閣官房原子力事故再発防止顧問会議委員 (~2012年)、大阪府、大阪市特別顧問 (~2012年) など、

政府や地方自治体の委員を歴任した。

また孫正義氏に付託されて、「自然エネルギー財団」設立の中心を担い、同財団の業務執行理事も務めた。

2014年より一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会 事務総長をつとめ、地域からのエネルギーシフトを進めるために全国を奔走中。

2016年11月、福島市で開催された「第1回世界ご当地エネルギー会議」(共催: ISEP、全国ご当地エネルギー協会、世界風力エネルギー協会(WWEA))の共同実行委員長を務め、同会議を歴史的な起点とする成功に導いた。2016年11月、長年にわたる地域からのエネルギーシフトの功績を評価され、WWEAから2016年世界風力エネルギー名誉賞を受賞した。

主著に『エネルギー進化論』ちくま新書、『エネルギー政策のイノベーション』(学芸出版社)、北欧のエネルギーデモクラシー、共著に『「原子カムラ」を超えて~ポスト福島エネルギー政策』(NHK出版)、『原発社会からの離脱-自然エネルギーと共同体自治にむけて』(講談社現代新書)、『今こそ、エネルギーシフト』(岩波ブックレット)、訳書に『エネルギーと私たちの社会』など多数。